被害状況及び地震活動の状況等

＜主な県の対応等＞

・4月14日(木) 21:26 災害対策本部設置
・4月15日(金)　0:30 第1回災害対策本部会議開催
・4月26日(火)　「激甚災害」指定の政令　公布･施行
・5月13日(金)　大規模災害復興法に基づく「非常災害」指定の政令 公布･施行
⋮
・5月20日(金)　第31回政府現地対策本部会議･第34回災害対策本部会議合同開催
⋮
～災害対策本部 継続中～

＜県内の被害状況＞

※熊本県災害対策本部　H28.5.23

○人的被害　・死者：69人、行方不明者：1人、 重軽傷者：1,676人
○住家被害　・全壊、 半壊、 一部損壊　合計：96,421棟
○避難者数　・183,882人
○避難所数　・855箇所
※最大時(H28.4.17時点)

＜県管理及び市町村管理の公共土木施設被害箇所数および被害額※1＞ 被害額合計＝約1,900億円

	県管理分		市町村管理分		合　計	
	(箇所数)	(被害額)	(箇所数)	(被害額)	(箇所数)	(被害額)
合　計	849 箇所	749 億円	2,470 箇所	1,154 億円	3,319 箇所	1,902 億円
河　川	350 箇所	222 億円	180 箇所	29 億円	530 箇所	251億円
海　岸	5 箇所	4 億円	—	—	5 箇所	4 億円
砂　防	32 箇所	26 億円	—	—	32 箇所	26 億円
急傾斜地	3 箇所	0.4 億円	—	—	3 箇所	0.4 億円
道　路	394 箇所	217 億円	1,672 箇所	364 億円	2,066 箇所	581 億円
橋　梁	51 箇所	243 億円	118 箇所	162 億円	169 箇所	405 億円
港　湾	6 箇所	10 億円	—	—	6 箇所	10 億円
下水道	4 箇所	2 億円	406 箇所	329 億円	410 箇所	331 億円
公　園	4 箇所	24 億円	94 箇所	268 億円	98 箇所	293 億円

端数処理(四捨五入)の関係で合計額が一致しない。

＜参考＞

・国直轄分(河川、海岸、道路、港湾など)54箇所 87億円 ※1※2
・農地等被害額＝約600億円 ※3

※1)「国土交通省所管公共土木施設被害報告概要」(平成28年6月1日現在)より(国土交通省HP)
※2) 国直轄分は、他県を含む。
※3) 5/13時点(田畑、農業用施設、農業集落排水施設、海岸施設等)

熊本県から大分県にかけての地震活動の状況

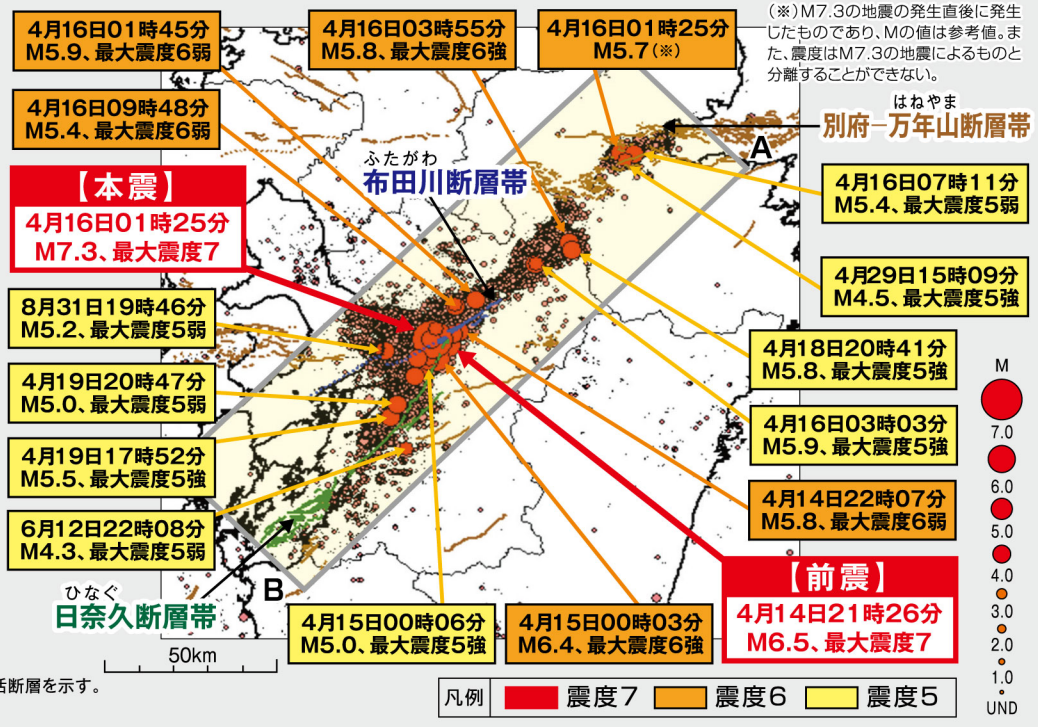
(10月11日09時00分現在)

○前震は、日奈久断層帯、本震は、布田川断層帯の活動によると考えられる。

○本震以降、北西方向(阿蘇･大分方面)でも地震が発生。

○北東～南西約100kmにわたって震源域が分布。

震央分布図中の青･緑･茶色の各線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
出典：気象庁ホームページ

震央分布図

(2016年4月14日21時00分～10月11日09時00分、M全て、深さ0～20km)
M5.0以上の地震、または最大震度5弱以上の地震を濃く表示